



月見ヶ丘こどもの家

園長 中江 祐

2023.8.1

今年の7月は、日本の観測史上最も平均気温が高い（平均25.96℃）という記録的な猛暑となり、8月に入っても依然として猛暑が続くという予報がなされています。そのような中、園庭では、大きなものは2メートルを超えるほどのヒマワリが見事な大輪の花を咲かせてくれています。アサガオも花芽の付きが今ひとつですが、なんとかグリーンカーテンの役割を果たしてくれています。またサルビアは、ヒマワリの前に可愛く咲いてくれています。ただ残念なのは、カボチャは雌花の付きが悪く昨年のような収穫は難しいのではないかと考えています。8月も熱中症対策とジワジワと増加しつつあるコロナ対策に注意を払っていききたいものです。



さて、先日、西京幼児交通事故防止対策連絡会の研修会に参加しました。（7月25日）これは西京区の保育園・認定こども園・幼稚園の先生方が一堂に会して、幼児の交通安全の現状と課題について理解を深めるというものでした。その中で重点項目としてあげられていたのが、「合図横断の実践」と「自転車乗車用ヘルメットの着用の徹底」です。

合図横断とは、横断歩道を渡るときに、ただ単に手を上げて渡ろうとするのではなく（手上げ横断）、横断歩道の手前で止まり、周りの安全をよく確かめて、**手のひらと顔をドライバーにしっかりと向けて合図をして、自動車がしっかりと止まるまで待つ**、という約束事です。未就学児の場合は、保護者の方がしっかりとついて横断するというのが原則ですが、小学生にもなれば一人で横断歩道を渡る場面も増えてくると思います。「最も多い7歳事故」にならないよう、今からこうした習慣をしっかりと身に付けてほしいと考えています。

また、**今年4月1日からは、道路交通法の一部改正により、すべての年齢層に対する自転車乗車時のヘルメットの着用が努力義務となりました**。「努力義務」というワードに着目しがちですが、研修会では、平成30年～令和4年の5年間で自転車乗車中の死者が全国で2,005人にもものぼり、そのうち、頭部損傷による死者が1,116人と56%を占め、頭部の損傷による死亡率が圧倒的に高いというデータが紹介されていました。（シミズ病院脳神経外科蒲原明宏医師）ヘルメットを着用しさえしていれば、救われた命がたくさんあった、ということでした。

「ヘルメットの着用が万一の場合に命を守ることにつながる」という点に着目すれば、自転車乗車時にはこどもだけでなく、大人もヘルメットをしっかりと着用したいものです。こどもの命を預かる職員と保護者の皆さんが今できることを一緒になって考えて行動し、交通事故の防止に全力をあげたいと心から願っています。

< 行事予定 >

8/12(土)~19(土) 『夏季家庭保育協力』お願い期間	8/24(木) 幼児組 お誕生会
----------------------------------	----------------------

※毎年8月に行っていた幼児組クラス懇談会及び組会ですが、今年度より書面にて行わせていただくこととなりました。また、ご意見等お聞かせください。